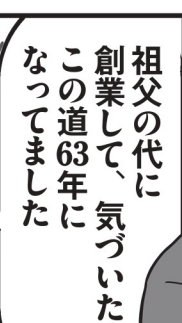
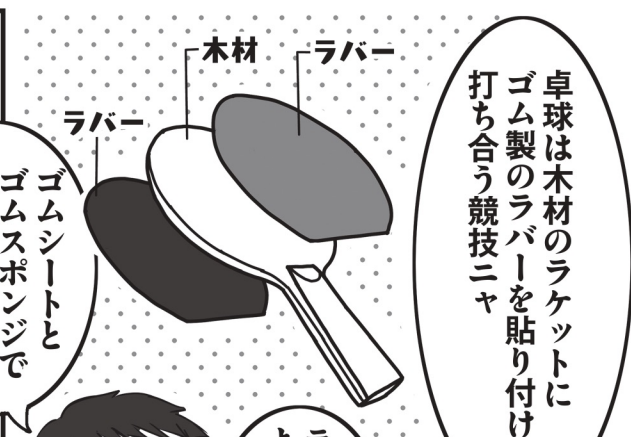
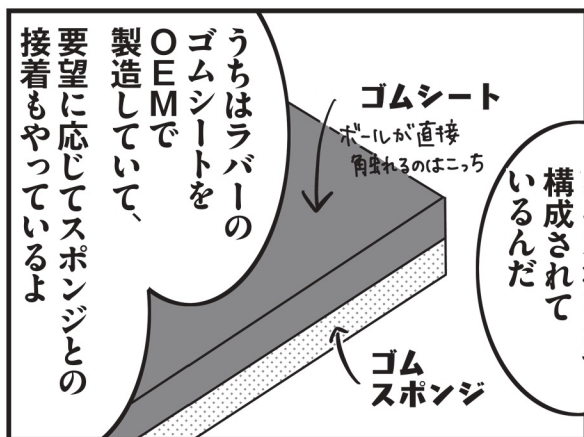


扶桑ゴム工業株式会社

作:unaki

日本の卓球界をガッツリ支える

卓球ラバー



あなたは知ってる?卓球ラバーの種類

ラバーの種類は色々あって、主にこの3つだよ

①裏ソフト

- ・表面がフラット
- ・回転がかかりやすく攻撃向き
- ・使用者が1番多い



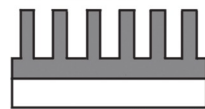
②表ソフト

- ・表面がツブツブ
- ・球離れが良く速攻向き
- ・ナックル効果※がある



③粒高

- ・表ソフトよりツブが高い
- ・回転の影響を受けにくい
- ・守備向き



※あえて無回転にして相手の意表をつく打球

自分の戦型に応じて選んでラケットに貼り付けるニャ!



一部ご紹介します

そして我が社で手がけている主なラバー製品を

裏ソフトの高弾性高摩擦ラバー

1971年世界選手権でスウェーデンのステラン・ベンクソン選手が優勝したことをきっかけに

チャンピオンラバー

と呼ばれ、爆発的にヒット

以来約50年のロングセラーで、

50年!?

ニーズに合わせて改良を重ね

現在も卓球用具売上ランキング裏ソフト部門3位にランクイン

スピード、回転、コントロール性が高性能に備わっていて

まさに日本の卓球界を支えるラバーなのニャ



打ちやすい!

卓球初心者にも扱いやすいと好評なんだ

そして
表ソフトの
変化系ラバー

粒高に近い粒形状の
ゴムシートで、
ナックル効果を
高めたラバー

日本の
トップ選手にも
支持されている

この製品は
我が社の品質を
気に入った
メーカー担当者から
オフアアをもらい



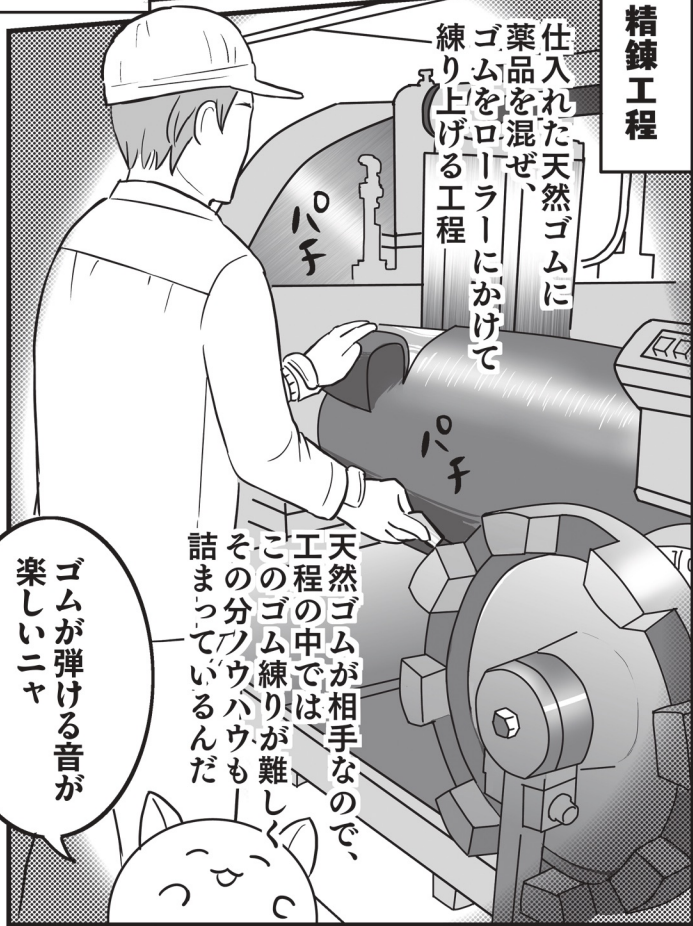
日本の卓球界を
盛り上げたいという
熱い声から
生まれたんだ

そんな
ラバーシートって
どうやって
作られてる
のニヤ？

ざっくり
言うと
こんな感じ

精錬工程

仕入れた天然ゴムに
薬品を混ぜ、
ゴムをローラーにかけて
練り上げる工程

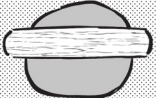


天然ゴムが相手なので、
工程の中では
このゴム練りが難しく
その分ノウハウも
詰まっているんだ

ゴムが弾ける音が
楽しいニヤ

精錬工程

パン作りに
例えると
生地作り



成形工程

形を作る
焼き上げ



仕上げ工程

仕上がりを
チェック

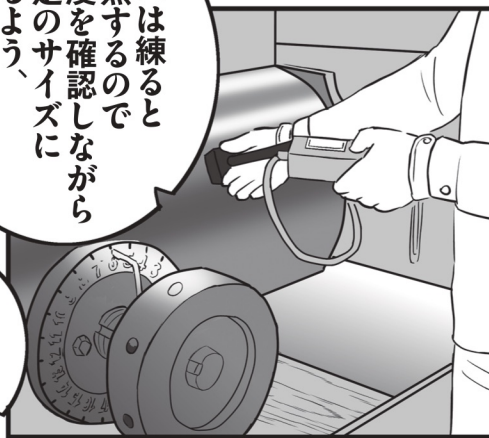


薬品の配合量、混ぜる順番、季節の変化を踏まえた対応が必要



長年蓄積してきた秘伝のレシピを元に作業している

こちらは成形前にゴムを伸ばすためのローラー



ゴムは練ると発熱するので温度を確認しながら規定のサイズになるよう、厚みを調整するよ

細やかな仕事ニヤ

成形工程

ゴムシートに熱や圧力を加えて成形する



適切なサイズにカットしたゴムを金型に挟んで

1枚ずつ焼き上げる

圧力によつてゴムの厚みがmm単位で変化するのでしっかりと調整して

ここでも厚みに影響するニヤ



仕上げ工程

ラバーとスポンジを貼り合わせて

のり付け機

カットしたものを検品へ

ここに入っているのは検品で不可になったものだけ

どうして? 綺麗なニヤ

ほらここボコッとしてるでしょ

ええ!?

言われないとわからないニヤ



ちなみに、ゴムに熱を加えることで薬との化学反応が生まれ分子構造が変化し

そこで初めてゴム特有の弾力性が生まれるんだ



熱を加える前は伸びない!

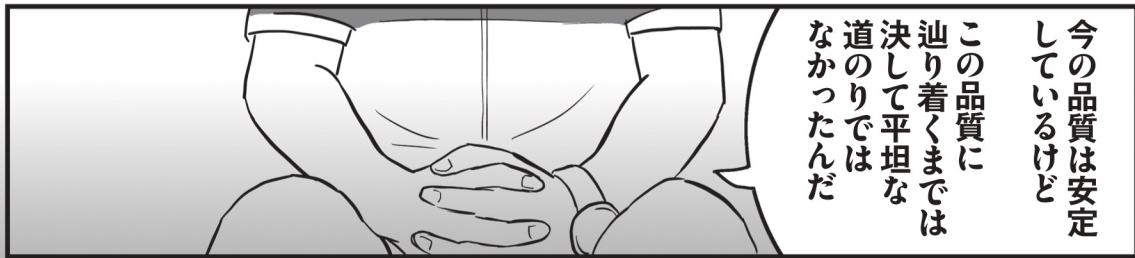
一見わからないけど、僅かにゴミが入っていたり粒が欠けていたりするよ

それは全て弾くんんだ

プレートには支障は無いけどね

工程を見て品質の高さに定評がある訳がわかったおタマであった





今の品質は安定しているけど
この品質に
辿り着くまでは
決して平坦な
道の方では
なかったんだ



自由な発想から
色々なラバーを試作、
チャンピオンラバーは
そこから生まれた

でも問題が…



創業者の祖父は
チャレンジ精神に
溢れていて

高橋幸二
初代社長

元々は自転車の
タイヤ製品を作っていたが
卓球のラバーにトライして
作ったこともない金型を
自力で起こした程だった



父は強い危機感を
持ったんだ

高橋誠
二代目社長

「このままでは
会社は立ち行かない」



天然ゴムから発生する
ブルーム※は
季節や温度、湿度など
さまざまな要因で
出たり出なかったりする

※ゴム表面が白くなる現象

トラックで
送った品物が、
不良として大量に
返ってくることも…

これらは全部破棄となり、
材料費や人件費が
無駄になってしまう

作り直しで、残業にもなり
社員に負担をかけてしまう



その結果、
多いときは
40%だった
不良が5%へと
ほぼなくなり
今では
残業ゼロで
働きやすい
環境を社員達に
提供できる
ようになりました

僕はそんな父の技術を
受け継ぎつつ、
さらに新しいラバーを
開発中!



そこから20年にわたる
父の戦いが始まった

温度

機械が熱を
持ちすぎて
いるかも

人的ミス

ベトベト
する!

たかさん
かき混ぜて
おきました!

湿度

一つ一つ丁寧に
不良の原因を探り、解決していった

人気の海外製ラバーに対抗すべく
新しい配合のサンプルを作っては
テストする日々

3年で製作した
試作品
170種

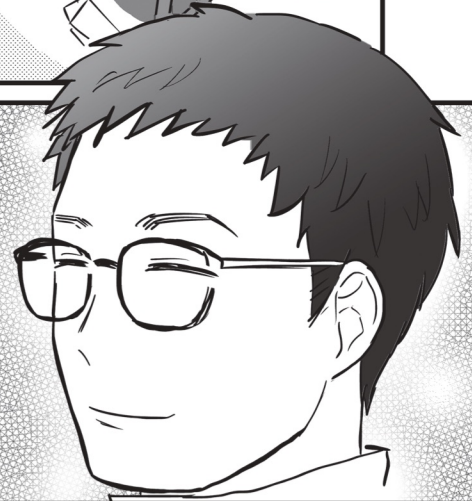
天然ゴムを相手に
試行錯誤する毎日だけど、
自ら面白いラバーを作り出す
研究は取り組みがいがあるよ

こっちは
スカスカでダメ

これいいかも

自社で
スポンジを
試作したり

ボールを
打った感覚を
確かめたり



開発中のものが
軌道に乗れば
人手が足りなくな
るので、

卓球ラバー作りに
携わってくれる
卓球経験者も
いずれ募集したいな

☆きたれ
卓球フレイヤー!!

Made in Japan
Made by FUSOで

これからの卓球を
熱く盛り上げていくぞ!